

5-11歳のお子さんの新型コロナワクチンについての考え

①健康なお子さんは、今のところは新型コロナウイルスに罹患しても、ほとんどが軽症と言われていますが、罹患すると、10日間の隔離が必要になります。子どもを新型コロナウイルス感染から守るためには、まずは周囲の大人(保護者の方、学校や園の先生など)への新型コロナワクチン接種が大切です。

②高齢者や基礎疾患のある方と同居している、または接触が多い場合や、受験やスポーツの対外試合など予定が変更しにくい場合は、接種を考慮してもよいかもしれません。

③基礎疾患のあるお子さんへのワクチン接種は、新型コロナウイルス感染症の重症化を防ぐことが期待されますので接種をお勧めします。

重症化のリスクは、慢性呼吸器疾患、脳性まひなどのように神経に障害がある場合、

先天性の心臓病、ダウン症のような染色体異常、小児がんなど免疫低下している場合、肥満です。

④健康なお子さんへのワクチン接種には、メリットとデメリットを本人と保護者が十分理解することが大切だと考えます。嫌がるお子さんを無理やりではなく、ご家庭で、しっかり話し合っただけで接種すべきかどうか考えることが一番大切かと思えます。

[感染によるリスク]

①軽症や無症状でも隔離が必要

②隔離による予定の変更やキャンセル

③周囲へ感染を拡げるリスク

④まれに重症になるリスクがある

実際、新型コロナのお子さんを診察して、ほとんどがインフルエンザよりやや軽い症状ですが、とてもしんどそうな方や入院が必要になるケースもありました。

⑤日本では実態はよくわかっていないが、何らかの症状が持続するかもしれない

[ワクチン接種のリスク]

※局所反応や全身反応は接種翌日をピークに、ほとんどが1週間ほどで改善

成人とほとんど同じですが、その頻度は低くなるというデータがあります。

①接種後の接種部位の痛みや腫れなどの局所反応

②接種後の全身倦怠感、頭痛、発熱などの全身反応

③接種後のアナフィラキシー、心筋炎・心膜炎 ➡ 非常にまれ

心筋炎は、アメリカでは800万回以上の接種で11例で、それ以上の年齢よりもかなり少なく、すべて軽症で自然治癒しています。新型コロナに感染して心筋炎になる確率の方が高いと言われていています。

④長期的な副反応 ➡ 現在のところ懸念されていない

日本小児科学会の見解 http://www.jpeds.or.jp/uploads/files/20220119_5-11corona.pdf

日本小児科医会の見解 <https://www.jpa-web.org/blog/uncategorized/a275>